平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名　クニミネ工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　5388　URL　http://www.kunimine.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 國峯　保彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長　(氏名) 川島　利昭　TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,104	4.8	371	△5.8	461	△0.9	280	△6.9
24年3月期第2四半期	4,873	0.0	394	74.5	465	49.9	300	61.3

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　272百万円　(△14.0%)　24年3月期第2四半期　317百万円　(91.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.88	―
24年3月期第2四半期	24.57	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,109	10,317	78.0
24年3月期	13,602	10,228	74.6

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　10,230百万円　24年3月期　10,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	15.00	15.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,109	△1.5	1,017	△18.3	1,147	△18.3	690	△20.1	56.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 1「1. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	14,450,000 株	24年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,206,518 株	24年3月期	2,206,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	12,243,482 株	24年3月期2Q	12,245,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 1「2. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

１．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
２．連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
３．連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
４．連結財務諸表等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(5) セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７

１．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 3,249千円増加しております

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

２．連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における業績は当初見込みを上回り堅調に推移いたしましたが、中国を含む新興国経済が減速し始め、個人消費も補助金などの政策効果が一巡し陰りが見える等景気が足踏み状態となり、今後の我が国経済の先行きが不透明となっていく状況の中、主納入先である自動車業界においてエコカー補助金の終了に伴う反動減が懸念される等、当社グループを取りまく環境が一段と厳しくなるものと予想されることから、前回発表（平成24年５月11日）の業績予想の変更はありません。

３．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要に支えられ緩やかに回復を続けていましたが、欧州だけでなく中国を中心に新興国経済も減速し始め輸出が減少、堅調だった個人消費も補助金などの政策効果が一巡し陰りが見え、景気は足踏み状態となりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、国内自動車生産台数が震災の影響から回復、エコカー補助金効果も加わり好調に推移、土木建築業界においても、住宅投資が被災住宅の再建などを背景に持ち直しの動きが続く他震災関連工事も動いており、全体として堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込みを継続して推進するとともに、前期に取得した郡山工場の活用等、売上高および利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門の好調により、売上高は51億４百万円（前年同期比 4.8%増）と増加したものの、採算性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門で前期にあった震災による繰越需要がなくなった他、上期は農薬事業年度の端境期で前期１月に取得した郡山工場の固定費を賄うだけの生産受注もなかったこと等により、営業利益は３億71百万円（同 5.8%減）となりました。経常利益につきましては、米国子会社における出資先からの配当収入が伸びたこと等により４億61百万円（同 0.9%減）となり、四半期純利益につきましては、前期の米国子会社における繰延税金資産・負債の回収可能性の見直しによる税金費用の負担減少がなくなったこと等により、２億80百万円（同 6.9%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、主納入先である自動車業界において、国内の生産台数が震災の影響のあった前期から一転、エコカー補助金等の政策効果も加わって大幅増となり、建機等においても中国を除くその他の新興国や資源国向けの輸出に陰りが見え始めたものの、復興関連の国内向け等全体としては好調に推移し、大幅な増収となりました。土木建築関係も、廃棄物処分場向けや護岸工事、防潮堤工事等の震災関連の需要を取り込むことができた他、地熱関係の需要が動き出したこと等により、大幅な増収となりました。ペット関係は、一部ＯＥＭ品の取扱が減少したこと等から、大幅な減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は37億15百万円（前年同期比 9.6%増）、セグメント利益は４億96百万円（同18.5%増）となりました。

② アグリ事業

主力の溶出制御剤や既存殺虫剤が落ち込みを見せ、郡山工場の取得により除草剤の受注が増加したものの、震災の影響により除草剤等の生産が繰り越され増収となった前年同期の反動を補えず、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は７億41百万円（同 8.1%減）、セグメント損失は21百万円（前年同期はセグメント利益１億１百万円）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが吸着用輸出向け・農薬用ともに、前期の震災による繰越需要がなくなったこと等により大幅な減収となり、止水材が止まっていたマンション案件が徐々に動き出し、環境保全処理剤が厳しい競争の中採算性の確保に努めるとともに納入先が増えたこと等により、それぞれ増収となりましたものの、全体としては減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は６億34百万円（同 4.9%減）、セグメント利益は95百万円（同3.2%減）となりました。

④ 環境事業

環境関連プラントの運営受託業務の他、関連する設備対応について売上計上でき増収となりましたが、現在、当社固有技術を活かした放射能汚染灰の処理技術の確立に努めるとともに、除染廃棄物対応への取り組みを強化、体制を拡充しており、これらを補うには至りませんでした。

この結果、当セグメントの売上高は13百万円（同62.5%増）、セグメント損失は22百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,865	2,613,524
受取手形及び売掛金	3,842,927	3,240,068
商品及び製品	284,021	297,898
仕掛品	229,162	288,321
原材料及び貯蔵品	1,220,806	1,071,671
その他	161,824	119,783
貸倒引当金	△8,400	△7,343
流動資産合計	8,004,207	7,623,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,413,722	1,367,897
機械装置及び運搬具（純額）	816,756	799,514
土地	1,777,880	1,778,256
リース資産（純額）	98,064	80,246
その他（純額）	105,135	227,373
有形固定資産合計	4,211,559	4,253,288
無形固定資産	133,238	106,878
投資その他の資産	1,253,618	1,125,769
固定資産合計	5,598,417	5,485,936
資産合計	13,602,624	13,109,859
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	779,294	644,845
短期借入金	182,000	182,000
未払法人税等	398,404	132,582
賞与引当金	143,470	130,165
その他	582,752	559,993
流動負債合計	2,085,921	1,649,585
固定負債		
長期借入金	281,300	190,300
退職給付引当金	8,410	9,049
閉山費用引当金	474,198	477,115
環境対策引当金	2,825	2,825
負ののれん	55,127	27,563
資産除去債務	23,494	23,494
その他	442,788	412,326
固定負債合計	1,288,145	1,142,675
負債合計	3,374,066	2,792,261

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,223,224	2,223,224
利益剰余金	6,786,452	6,882,972
自己株式	△524,726	△524,726
株主資本合計	10,102,749	10,199,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,403	107,339
為替換算調整勘定	△80,237	△76,559
その他の包括利益累計額合計	50,166	30,779
少数株主持分	75,641	87,548
純資産合計	10,228,557	10,317,597
負債純資産合計	13,602,624	13,109,859

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	4,873,260	5,104,871
売上原価	3,263,003	3,500,208
売上総利益	1,610,256	1,604,662
販売費及び一般管理費	1,215,398	1,232,871
営業利益	394,857	371,791
営業外収益		
受取利息	468	411
受取配当金	43,621	65,751
負ののれん償却額	27,563	27,563
貸倒引当金戻入額	10,119	2,238
その他	16,517	13,605
営業外収益合計	98,289	109,571
営業外費用		
支払利息	7,765	4,491
為替差損	18,557	11,207
コミットメントフィー	－	1,479
その他	1,108	2,776
営業外費用合計	27,431	19,954
経常利益	465,715	461,408
特別利益		
固定資産売却益	762	1,292
保険解約返戻金	－	21,579
特別利益合計	762	22,872
特別損失		
固定資産除却損	3,290	10,278
減損損失	－	28,254
災害による損失	31,223	－
投資有価証券評価損	－	1,133
特別損失合計	34,514	39,666
税金等調整前四半期純利益	431,963	444,614
法人税、住民税及び事業税	155,959	142,220
法人税等調整額	△47,562	11,787
法人税等合計	108,397	154,007
少数株主損益調整前四半期純利益	323,566	290,607
少数株主利益	22,720	10,435
四半期純利益	300,846	280,171

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	323,566	290,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,899	△23,064
為替換算調整勘定	△16,211	5,149
その他の包括利益合計	△6,312	△17,914
四半期包括利益	317,253	272,692
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,165	260,785
少数株主に係る四半期包括利益	18,088	11,907

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第２四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第２四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第２四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
減価償却費	297,477 千円	252,657 千円
負ののれんの償却額	27,563 千円	27,563 千円

（5）セグメント情報等

〔セグメント情報〕

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,391,596	806,028	667,535	8,100	4,873,260	－	4,873,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	48,055	－	1,610	－	49,665	（△ 49,665）	－
計	3,439,651	806,028	669,145	8,100	4,922,926	（△ 49,665）	4,873,260
セグメント利益	419,227	101,538	98,958	△ 15,556	604,167	（△209,309）	394,857

（注）１．セグメント利益の調整額△ 209,309 千円には、セグメント間取引消去 4,809 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 227,120 千円及び棚卸資産の調整額 13,001 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,715,967	741,122	634,621	13,160	5,104,871	－	5,104,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,691	－	779	－	32,470	（△ 32,470）	－
計	3,747,658	741,122	635,400	13,160	5,137,342	（△ 32,470）	5,104,871
セグメント利益	496,830	△ 21,550	95,746	△ 22,220	548,805	（△177,014）	371,791

（注）１．セグメント利益の調整額△ 177,014 千円には、セグメント間取引消去 2,642 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 218,470 千円及び棚卸資産の調整額 38,813 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。